輝生会事業所通信

初台リハビリテーション病院

4年ぶりに納涼祭を開催しました!

感染対策のため、病棟ごとにお神輿が練り歩く形としましたが、入院されている方も喜んでいただけたようです。来年には以前のように模擬店を出したり、外来、通所、訪問リハビリの方にもお越しいただき、東京音頭などを一緒に踊りたいものです。通常のリハビリ、ケアも大事にしつつ、患者さまの輝いた人生をサポートできるように、スタッフ一同取り組んでいきます。公式インスタグラムに動画もアップしていますのでぜひご覧ください。

船橋市立リハビリテーション病院

2023年グリーンカーテン

当院ではゴーヤを栽培してグリーンカーテン作りました。今年は記録的な酷暑により、苗の成長が伸び悩みましたが、障がい者雇用スタッフが丹念にお世話をしたおかげで大変立派なグリーンカーテンが出来ました。グリーンカーテンが面しているリハ室の内側から見ると、鮮やかな緑の葉からキラキラと光が差し込んでとてもきれいです。リハ室に差し込む強烈な日差しを和らげてくれています。ゴーヤも沢山収穫でき、今年もスタッフに配布することができました。

船橋市リハビリセンター

出前講座開催しました

2023年7月27日、夏見地区社会福祉協議会からの依頼により、社会福祉協議会のボランティアを対象に夏見公民館で出前講座を開催しました。

「寝たきりにならない為のリハビリ～生き生きと生活し続けるために～」と題し寝たきりになるきっかけや例をお伝えした上で予防の為の運動やストレッチを実際に一緒に行いました。頭と体の体操などもあり、皆さま積極的に参加いただき、楽しみながら開催することができました。

在宅総合ケアセンター元浅草

『たいとう診療所」Instagramを開設しました!

在宅総合ケアセンター元浅草の活動や働く職員について情報発信し、地域の方や医療職の方にたいとう診療所をもっともっと知ってもらうことを目的にInstagram始めました! たいとう診療所の診療に関する情報のほか、当院での活動、地域リハ活動、また職場の雰囲気などを積極的に発信していきたいと思っております。現在少しずつではありますが、フォロワーも増えてきております。皆さまも是非とも閲覧(いいね!)とフォローをお願いいたします。

在宅総合ケアセンター成城

1階正面玄関、通所エリアのLED改修工事を行いました!

当院では、SDGs(CO2削減)への取り組みとして7月に1階正面玄関、通所エリアのLED改修工事を行いました。正面玄関は暖色、通所エリアは昼白色を基調とし蛍光灯と比較しても明るく目に優しい色になっております。

患者さま、利用者さまからも「明るくなった」「遠いものでも見やすい」「正面玄関の温かみが増した」など評価を頂いております。今後も環境に配慮し地域の皆さまに信頼される病院作りを目指してまいります。

季刊情報誌「輝NET」 編集・発行 医療法人社団 輝生会 本部／〒110-0015 東京都台東区東上野1-28-9 5F https://www.kiseikai-reha.com

初台リハビリテーション病院	〒151-0071	東京都渋谷区本町3-53-3	TEL.03-5365-8500	https://www.hatsudai-reha.or.jp
船橋市立リハビリテーション病院	〒273-0866	千葉県船橋市夏見台4-26-1	TEL.047-439-1200	https://www.funabashi-reha.com
船橋市リハビリセンター	〒274-0822	千葉県船橋市飯山満町2-519-3	TEL.047-468-2001	https://www.funabashi-rehacen.com
在宅総合ケアセンター元浅草	〒111-0041	東京都台東区元浅草1-6-17	TEL.03-5828-8031	https://www.motoasakusa-reha.com
在宅総合ケアセンター成城	〒157-0072	東京都世田谷区祖師谷3-8-7	TEL.03-5429-2292	https://www.seijo-reha.com

kisei·kai 情報誌

輝NET かがやきネット

2023 JUL. 秋号
2023年10月20日
(通巻 第77号)

2022年度クリニカルインディケーターについて

初台リハビリテーション病院、船橋市立リハビリテーション病院の「2022年度クリニカルインディケーター」を、ホームページに公開しました。クリニカルインディケーターの指標のうち以下の2つについて、2022年度の結果に基づきご説明いたします。

1【ADLの改善(FIM利得)】

FIMとは、日常生活の自立度を示した指標です。数字が高いほど自立していることになります。入院時と退院時のFIMの差を「FIM利得」といい、数字の差が大きいほど改善されたことになります。

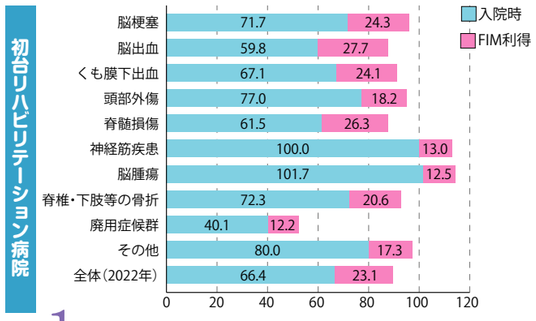
FIM利得 ＝ 退院時FIM － 入院時FIM

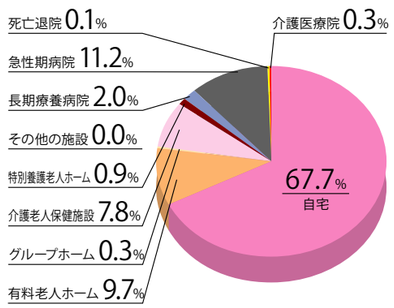
2022年度 FIM利得の結果は、平均で初台リハビリテーション病院は23.1点、船橋市立リハビリテーション病院は26.4点となりました。

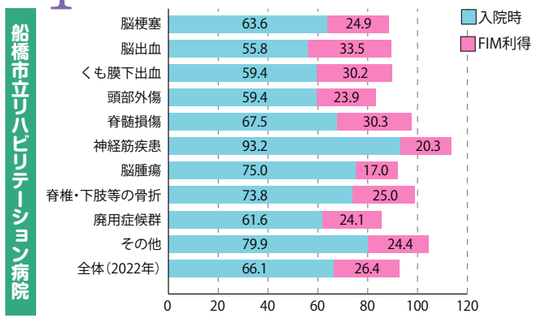
2【最終退院先(在宅復帰率)】

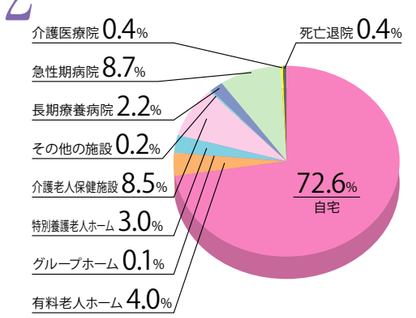
入院した患者さまが、当院でリハビリテーションを受けられた後、退院された先を表したグラフになります。回復期リハビリテーション病棟は、厚生労働省の基準において、退院先が自宅(有料老人ホームなども含む)の割合が7割以上であることと定められています。回復期リハビリテーション病棟では、在宅復帰は大きな使命となります。

在宅復帰率 ＝ 自宅（有料老人ホームなども含む） / 2022年度に退院された全患者









初台リハ病院

船橋市立リハ病院

こうして可視化することにより、医療の質が改善され、向上すると期待しております。また、データを公開することで、患者さま、ご家族の信頼に繋がればと考えております。ぜひホームページをご覧下さい。

輝生会の基本理念と方針	■「人間の尊厳」の保持 ■「主体性・自己決定権」の尊重	■「地域リハビリテーション」の推進 ■「ノーマライゼーション」の実現	■「情報」の開示
輝生会における患者さまの権利	■ 人権を尊重される権利 ■ 自分の診療の情報や記録を知り、求める権利	■ 最善の医療を受ける権利	■ 自らの意思で選択・決定する権利 ■ プライバシーの保護を求める権利

石川会長追悼行事

故石川誠会長が、2021年5月24日、74歳でご逝去され2年が経過しました。2023年8月20日(日)、輝生会主催の故石川誠会長の追悼行事が都市センターホテルで執り行われ、全国から多数の皆さまにご参会いただき、輝生会らしい思いのこもった会となりました。ここに、開催につきましてのご報告を申し上げます。

追悼行事については、故石川誠会長（以下、「石川さん」）が逝去されて間もなくから企画を開始しました。遺言として「全国からたくさんの方をお招きし『お別れ会』を盛大に開催してほしい、しんみりとした会は駄目だ。たくさんの方においしいお酒やお料理をふるまってほしい。」と託されたためです。しかしながら新型コロナウィルスの感染の収束の見通しが立たず、宴会は諦め、2022年5月29日に1周忌として「石川さんを偲ぶ会」を開催いたしました。

2023年5月8日に新型コロナウィルス感染症が５類感染症へと移行し、日常の生活が少しずつ戻り始めたことを受け『お別れ会』企画が再開されました。石川さんはその遺言の中で、『お別れ会』の内容についても細かく指示を出しており、運営はそれに従い職員がそれぞれ役割を担い、手作り感満載の「石川誠の思い出を語る会」が執り行われました。

石川さんと言えば日本酒

石川さんと言えば、全国各地での酒宴での交流です。会場の条件は会場が座敷であること、日本酒があり燗酒とお猪口を持ち、座敷で輪になって全員と語り合えることでした。石川さんが特に好んで飲まれていたのは高知県「土佐鶴 天平」、新潟県「〆張鶴 雪」、新潟県「大吟醸 八海山」です。「石川誠の思い出を語る会」では50本の日本酒を準備し、日本酒を飲みながら石川さんとの酒宴での思い出を語り合っていただきました。

石川さんとの思い出を語る

石川さんとの思い出の写真を大変たくさんの方からお送りいただきました。在りし日の元気な石川さんの笑顔や職員との交流、各地での皆さまとの懇親の様子を流しながら、存分に思い出を語っていただきました。

リクエストに応え演歌を熱唱

遺言をお聞きした際に「大宴会を開催しなさい、その会で皆様の前で歌手の吉幾三氏の「酒よ」を歌いなさいと」指示を受けました。なぜ「酒よ」なのか。歌詞の内容を思い浮かべると石川さんが酒を飲んでいる情景が浮かんできました。

最後に

参加者一同による ff（フォルテッシモ）の大合唱、「ポイントヒア！」の掛け声での締めも石川さんの恒例でした。石川さんとの思い出を語りながら、功績を称え、改めてその歩みを振り返ることができました。石川さんの偉業は決して色あせることはなく、わたくしたちや皆さまの心の中の、明るい灯りとして輝き続けていくことと思います。

「ff（フォルテッシモ）」

「ポイントヒア」

創設者 石川誠 memorial room

「石川誠の思い出を語る会」開催に先立ち、初台リハビリテーション病院内の一角に石川誠メモリアルルームが設置されました。石川さんの功績、思い出の品を展示しています。初台リハビリテーション病院にお越しの際はお立ち寄りください。